

帝京大学医学部附属病院におけるインシデントレポートの解析・管理に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 29 年 5 月 24 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

帝京大学医学部附属病院におけるインシデントレポートの解析・管理に関する研究

- ・ヒヤリハット報告分析 1: インタビューフォームを用いたレジリエンス事例の抽出と評価
- ・ヒヤリハット報告分析 2: Safety I と Safety II でヒューマンエラーは回避可能か
- ・医療機器のリスクマネジメントと安全教育における臨床工学技士の関与

〔研究目的〕

医療安全活動における情報の解析・管理を通じて、事故の原因となった、あるいは事故に繋がりがかねない問題を抽出し、その対策を検討して職員で共有することで、同様な事故の発生を防ぐことを目標とし、具体的には、安全管理室業務および安全管理体制の中でのインシデントレポートの分析を通じて、医療安全教育に役立てることを目的とします。

〔研究意義〕

事故の原因となった、あるいは事故に繋がりがかねない問題を職員間で共有することで、同様な事故の発生を防ぐ事が可能になります。安全管理室業務および安全管理体制の中でのインシデントレポートの分析を通じて、医療安全教育に役立てることが可能です。

〔対象・研究方法〕

帝京大学医学部附属病院における医療安全活動の情報を整理し、分析解析を行います。インシデントレポートシステム(Safe Producer)を使用して職員から提出されたインシデントレポートの件数及び内容の解析を行います。内容により root cause analysis(RCA)を利用して作成したインタビューフォームを用いて、聞き取り調査を行います。聞き取り結果は原因で分類し、同様の事例の回避が可能か否かについて考察を行います。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

個々の医療従事者の方の情報については、個人が特定できないように工夫して発表します。

〔その他〕

後ろ向き研究であり、有害事象は発生しません。

対象となる医療従事者の方で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 河内 正治(帝京大学医学部附属病院 安全管理部 部長)

連絡担当者: 浅海 海(安全管理部 部員)

連 絡 先: 帝京大学医学部附属病院安全管理部 TEL 03-3964-1211(内線)30656